

見学調査報告書

テーマ : 太平洋世界と北アメリカへの日系移民の歴史
ゼミ名 : 小田 悠生ゼミ
調査日 : 2022年11月13日(日)
調査先 : JICA-海外移住資料館、日本郵船歴史博物館
授業科目名 : 国際教養演習Ⅰ・Ⅱ
参加学生数 : 3名(3年)、2名(4年)

調査の趣旨(目的)

日米関係史において日本からの移民や日系アメリカ人が果たした役割について、同時代の文書や事物を通じて考察すること。

調査結果

本調査では、横浜港付近の国際開発協力機構(JICA)「海外移住資料館」と日本郵船株式会社「日本郵船歴史博物館」を見学した。幕末の開国以来、1970年代まで、日本は国策として海外への移民・労働者の送り出しを促進しており、戦後の国策事業を担っていたのが、国際開発協力機構(JICA)の前身の一つ、海外移住事業団(JEMIS)である。JICAでは同機構の前身が関わった移民事業のほか、環太平洋地域や北米への移民についての資料館をみなどみらいに開設している。こうした太平洋世界への窓口の一つが横浜港であり、「日本郵船歴史博物館」では、明治以来、現在までの海運の歴史と同社の事業について展示されており、とくに太平洋航路について学ぶことが今回の見学調査の目的である。

海外移住資料館では、昨年度末に、大規模な展示のアップデート・改装を行っており、よりビジュアルな展示を増やした構成となっていた。同資料館は従来より、文字資料の展示に加えて、日常的な暮らしの道具、労働の光景を再現した展示が充実していることが特徴的であり、それぞれの時代における日系移民の暮らしぶりを幅広い層の来館者に伝える工夫がなされている。あわせて、オーラルヒストリーに基づいた、ハワイ、北米、中南米のニッケイへのさまざまなインタビューが視聴できるようになっており、数世代にわたるニッケイの歴史について調査することができた。日本郵船歴史博物館では、このような太平洋を越えた人の移動を、幕末以来の海運と太平洋航路の歴史の中に位置付けるための見学調査を行った。

